



音声の聴取印象に関する研究



工学部 情報通信工学科／音響分析、聴取印象、法工学

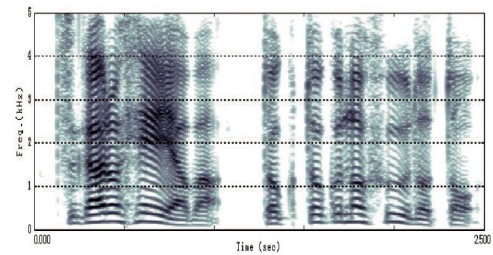
木戸 博 KIDO Hiroshi

教授、博士（工学）

1. 研究内容

犯罪捜査で行われる声紋鑑定は、現状では録音された場合にのみ可能である。しかし、録音されなかった場合でも、犯人の声を聞いた人がいた場合、声の記憶にとっても重要な情報が含まれている可能性がある。この情報（耳撃証言）は事件を解決する糸口になるかもしれない。

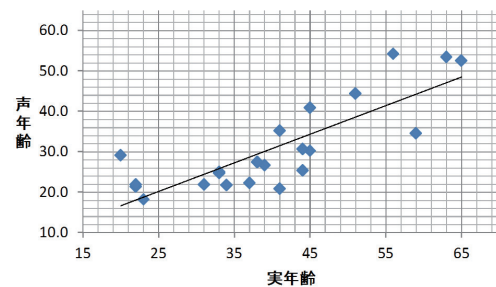
耳撃証言によって得られる情報を法科学（法的に重要な事実関係の研究・解釈・鑑定をなす科学、犯罪科学）の分野に活用する研究を進めている。



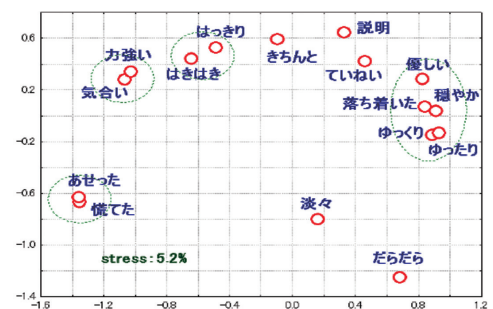
声紋

2. 地域・産学連携の可能性

前職の警察庁科学警察研究所で音声鑑定を行っていた経験から、県警等における捜査支援に協力することができると考える。また、捜査関係に役立つ GUI ソフトウェア開発も可能である。



実年齢と声の年齢印象



音声の表現語間の関係



聴取印象、法工学